



防災マップ



防災アプリ登録

地震・津波災害は、人命や財産などに大きな被害をもたらします。「自分の命は自らが守る」意識を持ち、平時から、自宅などの災害リスクを市の総合防災マップや防災アプリで確認いただき「とるべき行動」を決めておくほか、家屋の耐震・修繕や家具の固定、避難経路の確認や家庭備蓄など、すぐにできることから防災・減災対策をはじめましょう。また、いざというときに必要な最低限の内容をまとめている「命のパスポート」を切り取り、常に携帯しておきましょう。

地震災害から「命を守ろう」！

大きな地震が発生した際には、慌てずに冷静な対応を行うことが「命を守る」ことにつながります。

地震発生時の行動

緊急地震速報により、揺れの発生の前に情報を入手できる場合があります。

地震発生

■ 緊急地震速報

最大震度が5弱以上と予想された場合などに、震度4以上が予想される地域等を対象にテレビやラジオ、携帯電話等を通じてお知らせするものです。緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒と極めて短く、震源に近いところでは間に合わない場合があります。

揺れの発生

まずは
身を守る

まずは身の安全を確保 南海トラフの地震では2～3分間揺れが続くといわれています。

■ 身の安全の確保

- ・クッションや座布団などで頭を保護する。
- ・丈夫な机の下で身を守る。
- ・倒れてくる家具や落下物に注意。



■ コンロ近くにいる場合

- ・コンロの近くから離れ、揺れが収まったら落ちついて火を消す。

■ 非常脱出口の確保

- ・ドアや窓を開けて逃げ道を確保。

揺れが
おさまったら
ただちに

余震に
注意しながら
素早く行動

避難場所では

みんなで協力

津波やがけ崩れ等の危険が予想される場所にいる場合はすぐに避難します。

■ 火元の確認

- ・火元を確認し、ガスの元栓、電気ブレーカーを落とす。

■ 靴を履く

- ・底が厚く丈夫で、履きなれた靴を履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。

■ 家族の安全確認

- ・倒れた家具の下敷きになっていないか確認。

■ 火災時には協力して初期消火

- ・津波による浸水のおそれがない地域では、近隣で協力して初期消火。



避難後は助け合いの心で行動します。

■ 引き続き余震に注意

- ・余震の発生が危惧されることから、倒壊した家屋などの危険な場所に近寄らない。

■ 自主防災組織を中心に活動する

- ・集団生活のルールを守り、ゆずりあいと助け合いの心で行動する。

↓「命のパスポート」を切り取り、常に携帯しておきましょう！

津波から避難「より高く、より安全なところへ」！

強い揺れを感じたときなどは、津波がくるものとして「すぐ避難」することが必要です。なお、市では、大津波警報・津波警報・津波注意報の発表により、避難指示を発令しますが、対象者や対象区域が異なることに注意してください。

**大津波警報(特別警報)や津波警報が発表されたら
(揺れを感じない場合も)**

津波災害警戒区域へ避難指示を発令します

■ 沿岸部や川沿い、津波災害警戒区域にいる人は、直ちに高台や津波緊急避難場所などの安全な場所へ避難する。



※津波災害警戒区域
最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域

**津波注意報が発表されたら
(揺れを感じない場合も)**

海岸堤防等より海側へ避難指示を発令します

■ 海岸堤防等より海側の区域にいる人（漁業従事者、沿岸の港湾施設等で仕事に従事する者、海水浴客等）は、直ちに海岸から離れ安全な場所に避難する。



■ 津波災害警戒区域にいる人は、いつでも避難できるように準備する。



■ 地震が起きたら直ちに避難

揺れが小さい時でも長い時間の揺れ（1分以上）を感じたときは、津波警報等が発表されなくても直ちに避難しましょう。



■ 逃げ遅れたときは「遠く」よりも「高く」へ

すでに浸水が始まり、高台に避難する時間的余裕がないときは、市が指定している津波避難ビルや近所の頑丈な高いビルに逃げることを考えましょう。日頃から津波避難ビルを確認しておきましょう。



■ 津波の特性を理解する

津波は繰り返し襲ってきて、第一波よりも第二波以降の方が大きくなる可能性があります。1回目の津波で安心せずに、警報・注意報が解除されるまで海岸に近づかないようにしましょう。また、津波の前触れとして、必ず引き潮があるとは限りません。大規模な地震や揺れが長い地震のあとには、津波が来るものとして、直ちに避難しましょう。

その後は・・・

- 正しい情報をテレビ・ラジオなどで入手しましょう。



津波から安全に避難するポイント

地震・津波からあなたと家族を守る

命のパスポート

宇和島市

3秒
地震だ！

- 落ち着け！
- 身を守れ！
- 意識しよう！
脱出口確保

1～2分

揺れがおさまった
津波や山・崖崩れの
危険がある地域は
すぐに避難

- 火元を確認！
- 家族は大丈夫か！
- 靴を履く！
- 非常持ち出し品！

3分

● みんな無事か？
● 近くに火は？
大声で知らせろ！

- 消火器を使え！
- 余震に注意！

5～10分

● テレビ・ラジオをつけろ！
デマにまどわされるな！
● 市、自主防災組織の情報を確認！
● 電話はなるべく使わない！

避難のときは

- ・ガス栓を閉める！ブレーカーを切れ！
- ・走って逃げろ！
- ・ブロック塀の崩壊、自動販売機の転倒、看板やガラスの落下、がれきに注意！
- ・行先メモを玄関に！（空巣に注意！）

10分～数時間

● みんなで消火活動！
● みんなで救出活動！

簡単な手当ては自分で！

～7日

● 生活必需品は自助・共助
による備蓄でまかなえ！
水・食料・ラジオ・
ライト・常備薬等

- 市広報に留意！
- こわれた家に入るな！
- 無理はやめよう！
- ゆずりあいと助け合い！

避難生活になったら

3か条

- 自主防災組織を中心に！
- ルールを守れ！
- 助け合おう！
要配慮者に心づかい

